

～安全衛生対策強化月間～ 安全最優先いつまでも

ご安全に 今年も7月1日より全国安全週間が始まりました。

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念のもと、「労働災害防止活動を推進し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で第97回を迎えます。

そして、基幹労連「安全衛生対策強化月間」も始まりました。加盟組合・構成組織の事業所・職場においては、安全ビラの配布や現場パトロールなど、労使一丸となって労働災害の撲滅に向けた様々な活動に取り組まれることと思います。

また、今年も安全ポスターを募集させていただきました。組合員・ご家族の皆さんから939点の応募があり、中央本部役職員で審査を行い、優秀賞2点、三役賞5点、佳作14点を選考しました。審査結果は機関紙6月号に掲載していますが、応募いただいたすべての作品で、働く仲間・家族の安全と健康を願う気持ちが溢れていました。是非ご覧いただき、作品に込められた思いを感じていただければと思います。

基幹労連の本年の死亡災害は、各職場・労使の懸命な取り組みにもかかわらず、足元詳細確認中を含め、8件・9人もの尊い命を失っています。多発する死亡災害の連鎖に歯止めをかけて、これ以上、ご家族の悲しみや苦しみ、職場・働く仲間の苦悩を広げるわけにはいきません。私たちの取り組みは、安全活動がすべてではありませんが、安全と健康がなければすべての活動が成り立ちません。

今年も暑い夏がやってきました。摂氏30度を優に超える気温のなか、基幹労連に関わる多くの職場は、それ以上の暑さが続きます。業務中は緊張感も大切ですが、緊張感の維持には限界があり、お互いの目配り・気配りは、夏に限ることなく大切な行為です。

令和6年度の全国安全週間のスローガンは、『危険に気付くあなたが目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全』です。一人ひとりの気付きと行動、互いの指摘が我が身を守り、仲間を守ります。安全と健康は、誰かが与えてくれるものではありません。自らが守り、仲間とともに作りあげていくものです。

ご安全に！の挨拶で、元気に出勤・笑顔の帰宅、それは基幹労連がめざす“組合員とその家族の幸せ追求”の第一歩です。 「安全最優先」いつまでも！

今日も一日ご安全に！

2024年7月1日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 石橋 学